

特集・逝ける映画人を偲んで 2015-2016

In Memory of Film Figures We Lost in 2015-2016

2017年7月20日(木) - 9月10日(日)

11月9日(木)、10日(金)、14日(火) - 17日(金)、21日(火) - 23日(木・祝)

* 11月の上映は原節子出演作品のみを集めた「原節子選集」となります。詳細については後日リリースを発行いたします。

いつもお世話になっております。フィルムセンターでは、日本映画の輝かしい歴史を築き、惜しまれながら逝去された映画人の方々を、それぞれの代表的作品を上映することで追悼する企画「特集・逝ける映画人を偲んで」を2年ぶりに開催します。残念ながら、この2年のうちにも、日本映画は多くのかけがえのない才能を失うこととなりました。

本企画では、2015年1月1日から2016年12月31日の間に逝去された方々へのオマージュとして、75作品(68プログラム)を上映し、80名以上の映画人の業績を回顧・顕彰します。

この機会にぜひご周知いただきますようお願いいたします。



山猫令嬢



日本暗黒史 情無用



この二人に幸あれ



さらば愛しき大地



トラック野郎 突撃一番星



◎女郎責め地獄*



博奕打ち 総長賭博

【本特集で追悼する方々と上映作品】(五十音順) *印は成人指定作品です。

- 愛川 欽也 (俳優) 『春男の翔んだ空』(1977)、『トラック野郎 突撃一番星』(1978)
- 秋田 Aスケ (漫才師) 『てなもんや三度笠』(1963)
- 二代目秋田 Bスケ (漫才師) 『てなもんや三度笠』(1963)
- 阿藤 快(海) (俳優) 『祭りの準備』(1975)、『一万年、後....。』(2007)
- 嵐野 英彦 (音楽) 『二人の世界』(1966)
- 荒戸 源次郎 (製作・監督) 『ファザー・フッカー』(1995)
- 安藤 昇 (俳優) 『白昼の惨殺』(1967)、『日本暗黒史 情無用』(1968)、『任侠外伝 玄海灘』(1976)
- 安保 由夫 (俳優・音楽) 『任侠外伝 玄海灘』(1976)
- 飯塚 二郎 (監督) 『蒸気機関車の詩』(1974)
- 池谷 仙克 (美術) 『帝都物語』(1988)
- 伊藤 ユミ (歌手) 『三大怪獣 地球最大の決戦』(1964)
- 今井 雅之 (俳優) 『WINDS OF GOD』(1995)
- 今福 将雄 (俳優) 『愛の陽炎』(1986)、『ジャズ大名』(1986)
- 魚住 純子 (俳優) 『影法師捕物帖』(1959)
- 梅津 栄 (俳優) 『若者たち』(1967)
- 永六 輔 (俳優) 『春男の翔んだ空』(1977)
- 呉徳 洙 (監督) 『戦後在日五〇年史 在日』(1997)
- 大川 久男 (脚本) 『東京丸の内』(1962)、『瀬戸はよいとこ 花嫁観光船』(1976)
- 大重 潤一郎 (監督) 『光りの島 ISLAND OF LIGHT』(1995)
- 大原 清秀 (脚本) 『狂った野獣』(1976)
- 小川 真司 (俳優) 『ジャズ大名』(1986)
- 沖島 勲 (監督) 『したくて、したくて、たまらない、女。』* (1995)、『一万年、後....。』(2007)
- 角谷 栄次 (俳優) 『終の信託』(2012)
- 風見 章子 (俳優) 『土』(1939)
- 加藤 武 (俳優) 『名もなく貧しく美しく』(1961)、『私が棄てた女』(1969)、『天保水滸伝』(1976)
- 加藤 治子 (俳優) 『私が棄てた女』(1969)、『尼寺博徒』(1971)
- 香取 環 (俳優) 『引裂れた処女』* (1968)



てなもんや三度笠



WINDS OF GOD
© 1993 SHOCHIKU & KSS



土



天保水滸伝

- 金沢正夫 (照明) 『ありふれた愛に関する調査』(1992)
- 加藤伸代 (脚本) 『郡上一揆』(2000)
- 川口小枝 (俳優) 『白昼の惨殺』(1967)
- 川崎敬三 (俳優) 『氾濫』(1959)、『野獣死すべし』(1959)、『喜劇 初詣列車』(1968)
- 吉良知彦 (音楽) 『死霊の窟』(1988)
- 黒田義之 (監督) 『妖怪百物語』(1968)、『僕に涙はにあわない』(1992)
- 小泉博 (俳優) 『この二人に幸あれ』(1957)、『野獣死すべし』(1959)、『三大怪獣 地球最大の決戦』(1964)
- 三條美紀 (俳優) 『山猫令嬢』(1948)
- 篠原征子 (アニメーター) 『天空の城ラピュタ』(1986)
- 白川大作 (アニメーション監督) 『ねずみのよめいり』(1961)、『わんわん忠臣蔵』(1963)
- 白川由美 (俳優) 『この二人に幸あれ』(1957)、『野獣死すべし』(1959)
- 白坂依志夫 (脚本) 『巨人と玩具』(1958)、『氾濫』(1959)、『野獣死すべし』(1959)
- 須崎勝彌 (脚本) 『連合艦隊』(1981)
- 瀬川昌治 (監督) 『喜劇 初詣列車』(1968)、『瀬戸はよいとこ 花嫁観光船』(1976)
- 曾根晴美 (俳優) 『博奕打ち 総長賭博』(1968)
- 平良とみ (俳優) 『GAMA 月桃の花』(1996)
- 高橋治 (監督) 『死者との結婚』(1960)
- 高橋克雄 (アニメーション作家) 『笛吹き王子 グリム童話より』(1959)、『V・ポッターの童話より ピーターウサギの冒険!』(1960)、『子鬼の祭』(1961)、『野ばら』(1976)
- 高橋二三 (脚本) 『大怪獣空中戦 ガメラ対ギャオス』(1967)
- 滝田裕久 (俳優) 『野獣死すべし』(1959)
- 武重邦夫 (監督) 『民と匠の伝説 三五荘の記録』(1994)
- 武末勝 (脚本) 『血を吸う薔薇』(1974)
- 出目昌伸 (監督) 『俺たちの荒野』(1969)、『沖田総司』(1974)
- 寺田緑郎 (撮影) 『終の信託』(2012)
- 富沢幸男 (製作・監督) 『任侠外伝 玄海灘』(1976)
- 富田勲 (音楽) 『警視庁物語 顔のない女』(1959)、『ガリバーの宇宙旅行』(1965)、『たそがれ清兵衛』(2002)
- 中康治 (俳優) 『19 ナインティーン』(1987)
- 中川梨絵 (俳優) 『㊦女郎責め地獄』* (1973)
- 中山潔 (監督) 『制服脅迫犯し』* (1979)
- 西尾昇 (録音) 『連合艦隊』(1981)、『たそがれ清兵衛』(2002)
- 西沢信孝 (アニメーション監督) 『世界名作童話 白鳥の王子』(1977)
- 西本裕行 (俳優) 『名もなく貧しく美しく』(1961)
- 蛭川幸雄 (監督・俳優) 『青の炎』(2003)
- 根津甚八 (俳優) 『任侠外伝 玄海灘』(1976)、『さらば愛しき大地』(1982)
- 野村孝 (監督) 『夜霧のブルース』(1963)、『拳銃は俺のパスポート』(1967)
- 萩原流行 (俳優) 『愛の陽炎』(1986)
- 林士太郎 (録音) 『山猫令嬢』(1948)、『弁天小僧』(1958)
- 原節子 (俳優) ※11月に原節子出演作品のみを集めた「原節子選集」を開催。詳細は後日発表。
- 伴野功 (照明) 『祭りの準備』(1975)
- 平幹二郎 (俳優) 『天保水滸伝』(1976)、『帝都物語』(1988)
- 深江章喜 (俳優) 『夜霧のブルース』(1963)、『二人の世界』(1966)、『拳銃は俺のパスポート』(1967)
- 二木真希子 (アニメーター) 『天空の城ラピュタ』(1986)
- 松山善三 (脚本) 『この二人に幸あれ』(1957)、『名もなく貧しく美しく』(1961)
- 眞鍋理一郎 (音楽) 『白昼の惨殺』(1967)、『俺たちの荒野』(1969)、『血を吸う薔薇』(1974)、『沖田総司』(1974)
- 三角八朗 (俳優) 『氾濫』(1959)、『愛と誠』(1974)
- 目黒幸子 (俳優) 『巨人と玩具』(1958)、『氾濫』(1959)
- 元持昌之 (製作) 『御法度』(1999)
- 守田比呂也 (俳優) 『名もなく貧しく美しく』(1961)
- 八木昌子 (俳優) 『化石の森』(1973)
- 保田道世 (色彩設計) 『天空の城ラピュタ』(1986)
- 山下賢章 (監督) 『19 ナインティーン』(1987)
- 山内久 (脚本) 『若者たち』(1967)、『私が棄てた女』(1969)、『天保水滸伝』(1976)
- りりィ (俳優) 『狂った野獣』(1976)、『パークアンドラブホテル』(2008)
- 渡井嘉久雄 (技斗) 『二人の世界』(1966)
- 渡辺生 (照明) 『土くれの歳時記 民俗舞踊集』(1960)



氾濫



V・ポッターの童話より ピーターウサギの冒険!



19 ナインティーン



拳銃は俺のパスポート



名もなく貧しく美しく



パークアンドラブホテル
(C) P F F パートナース

■特集・逝ける映画人を偲んで 2015-2016 In Memory of Film Figures We Lost in 2015-2016

会 期:2017年7月20日(木)ー9月10日(日)、11月9日(木)、10日(金)、14日(火)ー17日(金)、21日(火)ー23日(木・祝)

※11月の上映は原節子出演作品のみを集めた「原節子選集」となります。詳細については後日リリースを発行いたします。

会 場:東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール(2階)

料 金:一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

掲載用のお問い合わせ先:03-5777-8600(ハローダイヤル)

本企画ウェブサイト:http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/yukeru2017-7_9/

【本企画に関するお問い合わせ】東京国立近代美術館フィルムセンター 事業推進室 広報担当 白鳥・大澤・富田
電話:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830 E-mail:nfc-pr@momat.go.jp 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6